

電車でお越しの方



路線図

車でお越しの方



- 電車でお越しの方**
- 南流山駅 (JR武蔵野線・つくばエクスプレス線) をご利用の方
南流山駅より徒歩約12分
 - 鎌ヶ崎駅・小金城趾駅 をご利用の方
鎌ヶ崎駅より徒歩約10分、小金城趾駅より徒歩約10分
 - 新松戸駅 (JR・地下鉄千代田線) をご利用の方
新松戸駅よりタクシーで約8分 (およそ900円)
- 車でお越しの方**
- 常磐道 茨城方面よりお越しの方
流山ICより約6.5km、所要時間約18分
 - 常磐道・東京外環自動車道 東京方面よりお越しの方
三郷ICより約7.0km、所要時間約20分
- 無料送迎バス**
- 南流山駅 (JR武蔵野線・つくばエクスプレス線) より送迎バス約5分

千葉愛友会記念病院 無料バス 時刻表

	月～土		月～金	
	病院	南流山北口	病院	南流山北口
7時	—	40	00	05
	50	55	20	25
8時	05	10	40	45
	20	25	00	05
	40	45	—	—
9時	00	05	40	45
	20	25	00	05
	40	45	20	25
10時	00	05	40	45
	—	—	00	05
	40	45	20	25
11時	00	05	40	45
	20	25	00	05
	40	45	20	25
12時	00	05	40	45
	20	25	00	05
	40	45	20	25
13時	00	05	40	45
	20	25	00	05
(土) 最終便	40	45	—	—

※土曜日は、病院発 13:40 南流山駅北口発 13:45 が最終便です。
※日・祝祭日・年末年始は運行致しません。

- 快適にご乗車いただくため、バス乗車時には以下の事柄をお守りください。
- ※安全運行のため途中下車・途中乗車はできません。
 - ※走行中は席を立ったり、運転士に話しかけたり、窓から手や顔を出さないでください。
 - ※携帯電話は電源を切るかマナーモードに設定し、通話をご遠慮ください。
 - ※乗車中の飲食・喫煙はご遠慮ください。
 - ※所要時間は病院行き・南流山駅行き北口共に通常5～6分ですが、道路事情により遅れることがあります。ご了承ください。
 - ※南流山駅は北口タクシー乗り場の前方に停車します。
 - ※南流山駅北口は長時間駐車ができないため到着後、すぐに発車します。

千葉愛友会

だより

VOL.16
2018.9

2018年 第16号
発行日：2018年9月
[編集発行] 広報委員会
千葉県流山市鎌ヶ崎1-1
電話 04(7159)1611(代表)
<http://chibaaiyu-kai.com/>



院長 石塚 朋樹

今年の夏は自然災害とも呼べるほどの猛暑が続きましたが皆様は体調を崩されませんでしたでしょうか？

今回は当院も参加しております「東葛北部5市GIBネットワーク」についてお話ししたいと思います。

東葛北部5市とは、都道府県で医療機関を適切に配置し、地域医療が効率的に機能するように制定された二次医療圏と呼ばれる枠組みで、流山市のほか松戸市、柏市、野田市、我孫子市の5市で構成されています。「GIB」は消化管出血を意味します。つまり、このネットワークは吐血や下血など胃腸からの出血が原因と思われる患者さんを夜間・休日に受け入れできる当番の病院を決めておき、患者さんを即座に受け入れられる体制を整える目的で作られました。

このネットワークが作られた背景をご説明いたします。消化管出血という疾患は、病状により内視鏡検査や輸血などの検査、治療を速やかに行う必要がある救急疾患です。しかしながら、各病院が24時間365日対応できる体制を整えるには、人的配置などの点で困難なため、夜間・休日の時間帯に救急隊が患者さんの受け入れ可能な病院を探し、搬送するまでに時間がかかるケースがありました。そのような事態を避けるために、5市の医師会、救急病院、救急隊が協力し、このネットワークが作られました。消化

管出血の患者さんに対応するネットワークが構築されている二次医療圏は全国にもほとんど無く、先駆的な取り組みなのです。

現在、東葛北部5市合わせて130万人を超える方々の健康を支えるためにネットワークに参加している病院は18病院にのぼり、この1年間でネットワークを利用し救急搬送された消化管出血の患者さんは月に平均約60人でした。地域の皆様の健康に寄与できるよう微力ではございますが当院も引き続き協力してまいります。

最後に皆様へのお願いがございます。全国的に救急車の出動件数は年々増加しております。高齢社会になった事も一因ではありますが、症状に緊急性が無いにもかかわらず「交通手段がないから」「便利だから」といった安易な利用が見受けられ、問題となっています。救急車が出払ってしまいますと前述したような一刻を争う緊急性の高い患者さんの搬送が遅れてしまうという事もあります。総務省消防庁のホームページに「救急車利用マニュアル」という案内があります。救急車を呼んだ方がいいかどうか迷った時に判断する目安なども記載されており、いざという時に役立つ内容です。そちらを是非ご覧になっていただき救急車の適正利用にご理解とご協力をお願い申し上げます。

病院理念

地域の人々に信頼され、
選ばれる病院

基本方針

- 患者様の権利・意思を尊重し、信頼される医療を提供いたします。
- 患者様が安全で安心できる医療に努めます。
- 医療人として自己研鑽し、医療の質向上に努めます。
- 地域基幹病院として、救急・周産期・小児医療の充実を図ります。
- 地域の関係機関と連携し地域医療に貢献いたします。

日曜日に乳がん検診を受けませんか？

10月21日はJ.M.S (ジャパン・マンモグラフィー・サンデー)



■ J.M.S (ジャパン・マンモグラフィー・サンデー) とは？

子育て・介護・仕事・家事などで忙しく、平日に病院に行けない女性の皆様が、休日の日曜日に「乳がん検診」を受けられるよう、全国の医療機関と認定 NPO 法人 J.POSH (日本ピンクリボン運動) が協力して毎年10月第3日曜日に乳がん検診を受診できる環境づくりの取り組みで、今年は10月21日の日曜日に行われます。

■ 当院は J.M.S (ジャパン・マンモグラフィー・サンデー) の 賛同医療機関です。

今まで乳がん検診に行ったことが無い方、最近忙しくて行っていない方等、日曜日に受診出来るこの機会に「乳がん検診」を受けてみませんか？乳がんは早期発見・早期治療すれば「ほとんどが治るがん」です。



■ 日本の乳がん事情について

乳がんになる人の数(罹患者数)は1996年に女性の悪性疾患の1位になって以来、年々右肩上がりに増加し、2012年の推定罹患者数は82,773人になっています。2012年の罹患者数から統計的に算出したゼロ歳の人が、乳がんにかかる女性の割合(累積罹患リスク)は、11人に1人となります。このように、乳がんは女性にとってごく身近に起こる病気です。

■ かかりやすい年齢

乳がんの発生は20歳前後から認められ、30歳代で増加、40歳代から60歳代前半までがピークです。その後も少し数は減りますが、依然として高い発生率です。

つまりだれでも20歳をすぎたら、そしていくつになっても、乳がんにかかる可能性のある「乳がん年齢」(乳がん適齢期)なので定期的な検診が必要です。

■ 「乳がん検診」を受けてみませんか？

乳がんの現状は罹患率・死亡率とも増え続けています。その原因は、日本の乳がんの検診率の低さだと指摘されています。一方海外に目を向けてみますと、欧米諸国の罹患率は増えているものの死亡率は徐々に低下しているのが現実です。何故なのでしょう。それは、対象年齢の約70%が乳がん検診を定期的に受診しているからと言われています。

(J.M.S ホームページより一部抜粋)

■ 当院のマンモサンデー (乳がん検診) について

- 実施日:平成30年10月21日(日)
- 事前予約:電話・FAX・Webにてご予約を承っております。
- 検査時間:9:00～17:00 ※検査時間により、来院時間が異なります。
- 検査内容・費用:マンモグラフィ(二方向)……(通常)8,100円→**4,000円(税込)**
 乳腺超音波検査……(通常)6,480円→**3,500円(税込)**
- 当院の特徴:乳がん検査後、すぐに乳がん専門医が診断し、ご説明いたします。
 当院はマンモグラフィ健診施設画像認定施設であり、検査は全て女性技師が担当します。
 検査時間は約15分程度です。

■ご予約・お問い合わせ先

千葉愛友会記病院 健診センター

☎04-7110-0858(直通)

受付時間:平日9:00～17:30 土曜9:00～13:00

Web予約はこちら ▶ <http://airrsv.net/chibaaiyu-kai/calendar>



～第3回市民公開講座開催について～

根本 佐代子 (医事課 係長)

平成30年6月23日(土)に流山市生涯学習センターにて『第3回市民公開講座』を開催し、当院の副院長 三村 俊介医師による「つらくない?胃カメラ」というテーマの講演を行いました。

今回の講演は、経口検査のみではなく、検査時に鎮静剤(静脈麻酔)で眠って行う検査方法をはじめ、経鼻内視鏡と呼ばれる、鼻から細い内視鏡を入れて行う検査の方法など、患者様に応じた方法で“つらくない検査”・“痛くない検査”を受けていただけた内容でした。

次回は第4回市民公開講座を平成30年11月に予定しております。詳細が決まり次第、院内の掲示板・病院のホームページ等にてご案内致しますので、ぜひお気軽にお立ち寄りください。

親子スキンケア教室について

石黒 奈緒 (小児科 薬剤師・小児アレルギーエドゥケーター)

当院の小児科では2年前から、一般の親子向けのスキンケア教室を行っています。アレルギーの専門医と小児アレルギーエドゥケーターによる講話のほか、泡作りや保湿剤の塗り方の体験ができます。

こどもの皮膚は、大人にくらべて乾燥しやすく、湿疹などさまざまな皮膚トラブルが起こりやすい状態にあります。さらに、ここ数年の国内外の研究で、「乾燥した皮膚」がアレルギー発症のきっかけとなることが提唱されるようになりました。適切なスキンケアは皮膚トラブルを防ぐだけでなく、アレルギー発症予防にも繋がります。

お子さまの健やかな成長のために、みなさんで楽しくスキンケアを学びましょう。

